

2016 年 11 月

インターンシップご担当者 殿

東京電力ホールディングス株式会社
ビジネスソリューション・カンパニー
人財・組織開発センター
インターンシップ事務局

2016年度 東京電力ホールディングス冬期インターンシップ募集のご案内

拝啓

平素より当社事業にご理解ならびにご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、2017年2月に当社インターンシップを実施し、参加学生を募集することになりましたのでご連絡申し上げます。この度開催いたします冬期インターンシップは1週間のプログラムで実施し、各コースとも電気事業を支える様々な業務に携わることが出来る魅力的な内容となっておりますので、是非参加ご検討いただきますようお願い致します。

詳細は、同封の資料「東京電力2016年度冬期インターンシップ応募要領について」「2016年度冬期 東京電力インターンシップ コース詳細」他をご覧ください。

皆さまからのご応募お待ちしております。

敬具

【インターンシップ応募締切り】

2016年 12月6日 (火)

【添付書類】

- ・ 東京電力2016年度冬期インターンシップ応募要領について
- ・ 2016年度冬期 東京電力インターンシップ コース詳細
- ・ 学生PR用広告

【連絡先】

東京電力ホールディングス株式会社
ビジネスソリューション・カンパニー
人財・組織開発センター インターンシップ事務局

中村 圭佑

佐藤 卓

電 話：03-6373-2353 (直通)

メール：nakamura.keisuke@tepcoco.jp

東京電力2016年度冬期インターンシップ応募要領について

東京電力ホールディングス株式会社
ビジネスソリューション・カンパニー
人財・組織開発センター
インターンシップ事務局

東京電力では2017年2月に冬期インターンシップを実施いたします。
皆さまからのご応募をお待ちしております。

1. 実施概要

(1) 実施日程：2月13日（月）～2月17日（金）

(2) コース設定と対象学科：

- 原子力発電コース（原子力工学系、電気系、機械工学系、化学系学科、情報通信系）
- 土木コース（土木系学科）
- 建築コース（建築系学科）
- 技術開発コース【A. 電力事業における化学研究に関する取組み等】（電気系、化学系学科）
- 技術開発コース【B. 洋上風力発電の実証研究】（電気系、機械系、土木系学科）
- 技術開発コース【C. 電力設備（架空・地中・変電）の技術開発】（電気系学科）
- 技術開発コース【D. 原子炉設備の高経年化対策】（機械工学系学科）
- 技術開発コース【E. 電力設備を構成する金属材料の腐食評価】
（金属・材料工学科、化学工学科（電気化学）、原子力工学系学科、及びそれに準ずる学科）
- 技術開発コース【F. 高温材料クリープ破断面の観察】（機械工学系、金属工学系学科）
- 技術開発コース【G. 高分子材料の劣化挙動解明・評価】
（材料系、有機・高分子化学系学科、及びそれに準ずる学科）
- 技術開発コース【H. BWR炉内構造物材料】（機械工学系、金属工学系学科）
- 技術開発コース【I. 福島第一の廃炉に向けた取組み】（機械工学系学科）

※ 詳細内容については別紙「2016年度冬期 東京電力インターンシップ コース詳細」をご参照ください。

※ 対象学科につきましては受講にあたって専門知識を有する必要があるために設定させていただいております。ご了承くださいますようお願い致します。

2. 応募と参加者の決定について

(1) 応募

以下ウェブサイトからエントリーをお願いいたします。

<https://mypage.1030.i-web.jp/tepc-intern2016/>

(詳細はマイナビ 2018、リクナビ 2018 にて「東京電力」を検索)

エントリー後、メールにてマイページURLとログインID、パスワードが通知されます。マイページ上にてエントリーフォームの入力、及び履歴書(写真付き、様式は自由、学校指定の履歴書も可)を郵送いただき応募完了となります。

□ エントリーフォーム入力締め切り：12月6日(火)

□ 履歴書の郵送締め切り：12月6日(火) 消印有効

郵送先 〒100-8560 東京都千代田区内幸町1-1-3 (10階)

東京電力ホールディングス株式会社 ビジネスソリューション・カンパニー
人財・組織開発センター インターンシップ事務局宛て

(2) 参加者の決定

参加人数に限りがあるため、エントリーフォームにより選考させていただきます。

受講者決定：12月中旬頃

受講者決定のご連絡、集合場所や時間のご案内など、受講者の皆さんへの情報はマイページから随時発信いたします。

3. インターンシップ期間中の処遇等

■ 交通費

期間中の交通費(参加・通勤交通費、出張旅費)は、その実費を支給します。

※システム都合上、支給までに若干のお時間をいただきます。

■ 宿泊

自宅からの通勤が困難な場合、およびインターンシップ期間中の出張等により宿泊が必要な場合は、当社にて宿泊施設を用意します。

■ 報酬

報酬の支給はございません。

4. その他

当社で実施した他のインターンシップにご参加いただいた学生様につきましては対象外とさせていただきます。

インターンシップへのご応募に関するご質問・相談は、下記担当者までメールまたはお電話にてお願いいたします。

なお、本インターンシップは、採用活動と一切関係ございません。

【連絡先】東京電力ホールディングス株式会社

ビジネスソリューション・カンパニー

人財・組織開発センター インターンシップ担当

中村 圭佑

佐藤 卓

電話：03-6373-2353(直通)

メール：nakamura.keisuke@tepc.co.jp

学生の皆さま

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社 冬期インターンシップ参加者募集

募集要項

実施日程

2017年2月13日(月)～2月17日(金)

設定コース

- 原子力発電コース
 - 土木コース
 - 建築コース
 - 技術開発コース【A. 電力事業における化学研究に関する取組み等】
 - 技術開発コース【B. 洋上風力発電の実証研究】
 - 技術開発コース【C. 電力設備(架空・地中・変電)の技術開発】
 - 技術開発コース【D. 原子炉設備の高経年化対策】
 - 技術開発コース【E. 電力設備を構成する金属材料の腐食評価】
 - 技術開発コース【F. 高温材料クリープ破断面の観察】
 - 技術開発コース【G. 高分子材料の劣化挙動解明・評価】
 - 技術開発コース【H. BWR炉内構造物材料】
 - 技術開発コース【I. 福島第一の廃炉に向けた取り組み】
- その他コースも今後開催する予定がございます。

各コースの詳細内容は以下URLより「東京電力」を検索！

リクナビ2018

<https://job.rikunabi.com/2018/>

マイナビ2018

<https://job.mynavi.jp/18/pc/toppage/displayTopPage/index>

インターンシップ期間中の処遇等

■交通費

期間中の交通費(参加・通勤交通費、出張旅費)は、その実費を支給します。

■宿泊

自宅からの通勤が困難な場合、およびインターンシップ期間中の出張等により宿泊が必要な場合は、当社にて宿泊施設を用意します。

■報酬

報酬の支給はございません。



実施プロセス

- ①下記URLよりエントリーをお願い致します。
<https://mypage.1030.i-web.jp/tepc-intern2016/>
- ②エントリー後、メールにてマイページURLとログインID、パスワードが通知されます。
- ③マイページ上にてエントリーフォーム登録、及び事務局へ履歴書を郵送していただき応募完了となります。
応募締切り:2016年12月6日(火)
- ④参加人数に限りがあるため、エントリーフォームの内容により、選考させていただきます。
受講者決定:2016年12月中旬頃

その他

- 本インターンシップは、採用活動と一切関係ございません。

2016年度冬期 東京電力インターンシップ コース詳細

コース	コースタイトル・実習内容	実習期間	受入人数	対象学科等	受入部門
原子力発電	【原子力発電】 原子力発電所にて発電システムや放射線管理等について学習や体験実習。訓練センターにて設備見学を通じて設備概要や性質等について学ぶ。 ※廃炉業務を除く	2月13日(月)～2月17日(金) (1週間)	15人	原子力工学系 電気系 機械工学系 化学系	原子力安全・統括部
土木	【土木】 電力設備の視察や講義・演習等を通じて、東京電力の土木技術者が担う役割や業務遂行のためのスキル・知識を体感しながら理解する。また、若手技術者との懇談を通じ、技術者としてのキャリア形成のヒントを得る。	2月13日(月)～2月17日(金) (1週間)	12人	土木系	経営技術戦略研究所 土木・建築エンジニアリングセンター
建築	【建築】 ジョブシャドウイングによる業務の疑似体験や、当社が保有する電力設備、建物等の見学を踏まえた建築計画の業務体験(個人およびグループワーク)等を通じ、当社における建築業務の理解を深める。	2月13日(月)～2月17日(金) (1週間)	10人	建築系	経営技術戦略研究所 土木・建築エンジニアリングセンター
技術開発	A 【電力事業における化学研究に関する取組み等】 リチウムイオン電池の取組み、環境化学(汚染水対策の模擬実験など)およびCO2対策研究の取組みの紹介と、一部実験を行う。さらに、現場施設の見学を通して電気事業における環境技術について知見を深める。	2月13日(月)～2月17日(金) (1週間)	2人	電気系 化学系	経営技術戦略研究所 技術開発部 環境技術グループ
	B 【洋上風力発電の実証研究】 わが国初の沖合洋上風力発電の実証研究設備を用いて、巡視・点検業務を体験するとともに、観測された波浪・風速データや発電出力変動データなどを分析して、洋上風力発電の運用実態や発電特性を実物を使って理解し、最新の技術知見を得る。	2月13日(月)～2月17日(金) (1週間)	1人	電気系 機械系 土木系	経営技術戦略研究所 技術開発部 洋上風力発電技術グループ
	C 【電力設備(架空・地中・変電)の技術開発】 電力設備の設備保全、落雷・積雪・地震など自然現象への対応、加えて将来に繋げていく要素技術に着目した技術開発の業務について、流通設備を代表する架空送電、地中送電ならびに変電と多岐にわたって業務を体験する。	2月13日(月)～2月17日(金) (1週間)	2人	電気系	経営技術戦略研究所 技術開発部 送変電技術グループ
	D 【原子炉設備の高経年化対策】 発電設備の新設が困難な状況下において、いかなる設備も長期間の運用により、劣化していくことは避けられません。設備の経年劣化を的確に評価・把握するための技術開発をする。	2月13日(月)～2月17日(金) (1週間)	1人	機械工学系	経営技術戦略研究所 技術開発部 熱流動技術グループ
	E 【電力設備を構成する金属材料の腐食評価】 電力会社の設備保全のあらましを理解し、電力設備を構成するステンレス鋼、炭素鋼、アルミニウム等の金属材料の腐食試験、電気化学試験、材料試験および試験データの整理等を行う。	2月13日(月)～2月17日(金) (1週間)	2～3人	金属・材料工学系 化学工学系 (電気化学) 原子力工学系 およびそれに準ずる学科	経営技術戦略研究所 技術開発部 環境材料技術グループ
	F 【高温材料クリープ破断面の観察】 火力発電所ボイラ高温部に用いられる高Cr鋼(STPA28)のクリープ破断試験後の破面観察を行う。観察結果を取りまとめ、他条件の試験での結果と比較検討することでクリープ劣化機構データの蓄積を行う。	2月13日(月)～2月17日(金) (1週間)	1人	機械工学系 金属工学系	経営技術戦略研究所 技術開発部 材料評価技術グループ
	G 【高分子材料の劣化挙動解明・評価】 発電所などで使用されるポリエチレン材料について、安全性を保ちつつ使える時間を見極めるため、現場での長時間使用を模擬して加速的に劣化させた試料を用いて、強度試験や材質試験等基礎物性調査を行い、劣化挙動を解明・評価する。	2月13日(月)～2月17日(金) (1週間)	1人	材料系 有機・高分子化学系	経営技術戦略研究所 技術開発部 材料評価技術グループ
	H 【BWR炉内構造物材料】 沸騰水型原子炉の炉内構造物に使用されているオーステナイト系ステンレス鋼について、炉内模擬環境(高温純水)中に形成される酸化皮膜の分析を実施するとともに、応力腐食割れ(SCC)の発生感受性、進展特性に関して検討を行う。	2月13日(月)～2月17日(金) (1週間)	1人	機械工学系 金属工学系	経営技術戦略研究所 技術開発部 材料評価技術グループ
	I 【福島第一の廃炉に向けた取組み】 過酷事故に至った福島第一原子力発電所を一刻も早く、より安定な状態にするため、廃炉作業が進められています。過去に例のない事故炉の廃炉作業を完遂するため、経営技術戦略研究所(TRI)として実施している技術開発を間近で経験して頂く。	2月13日(月)～2月17日(金) (1週間)	1人	機械工学系	経営技術戦略研究所 技術開発部 材料評価技術グループ